

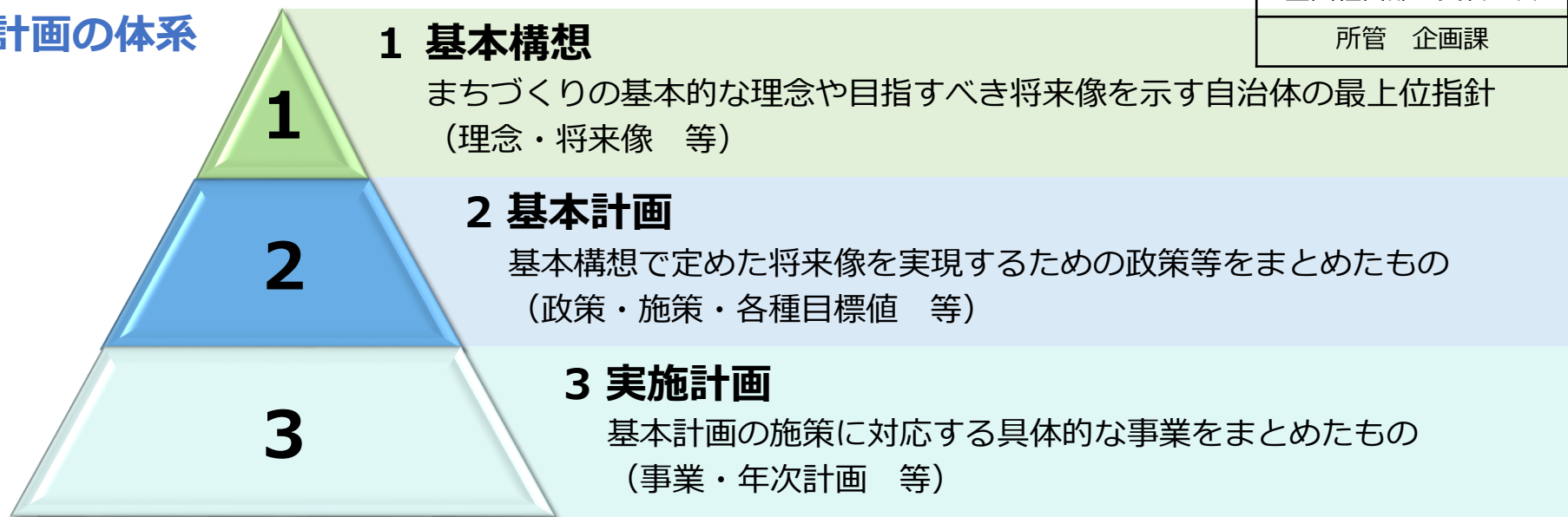
1. 新たな大田区基本構想の策定について

総務財政委員会
令和5年6月19・20日

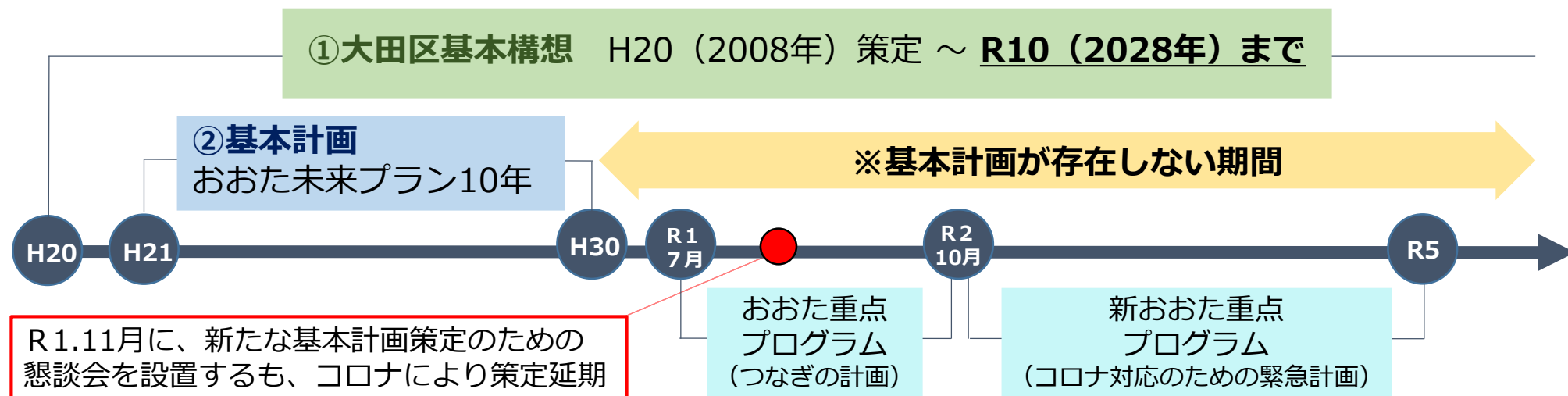
企画経営部 資料3番

所管 企画課

■ 総合計画の体系



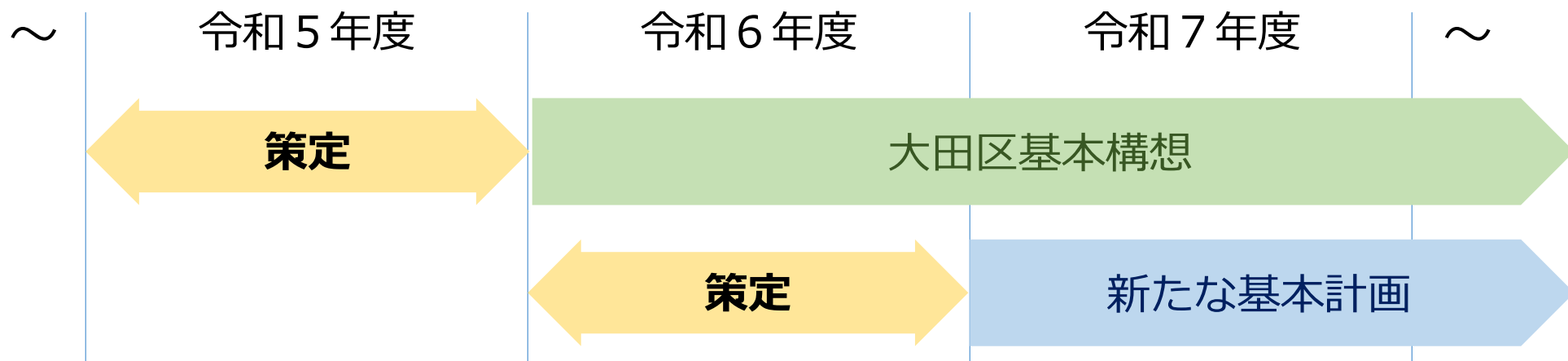
■ 大田区の総合計画の現状



1. 新たな大田区基本構想の策定について

- 現在の大田区基本構想は、策定から約15年が経過
- この間、少子高齢化の進行や気候変動、新型コロナウイルスの流行という未曾有の危機などにより、区を取り巻く社会情勢や区民の生活様式が大きく変化
- 現下の状況を踏まえ、大田区の目指す将来像を再検討すべき時期を迎えている

新たな大田区基本構想の策定に着手



2. 今後の進め方

■ 大田区基本構想審議会

- ✓ 7月末～8月上旬に、第1回大田区基本構想審議会開催予定
- ✓ 以降審議会・部会を複数回開催

■ ワークショップ等の各種区民参画企画

- ✓ 7月以降順次実施
 - (例) ○ワークショップ ○オープンハウス型の説明会
 - LINEやQRコードを活用したアンケート
 - 子ども向けアンケート など

■ 将来像検討に当たっての基礎資料の作成・公表

- ✓ 審議会の検討や区民から意見を伺う際に活用するために、「15年間の変化」や「将来予測」、「区の強み・弱み・特徴」等をまとめたデータ集的な冊子を作成予定

3. 令和4年度に実施した区民意識調査等について

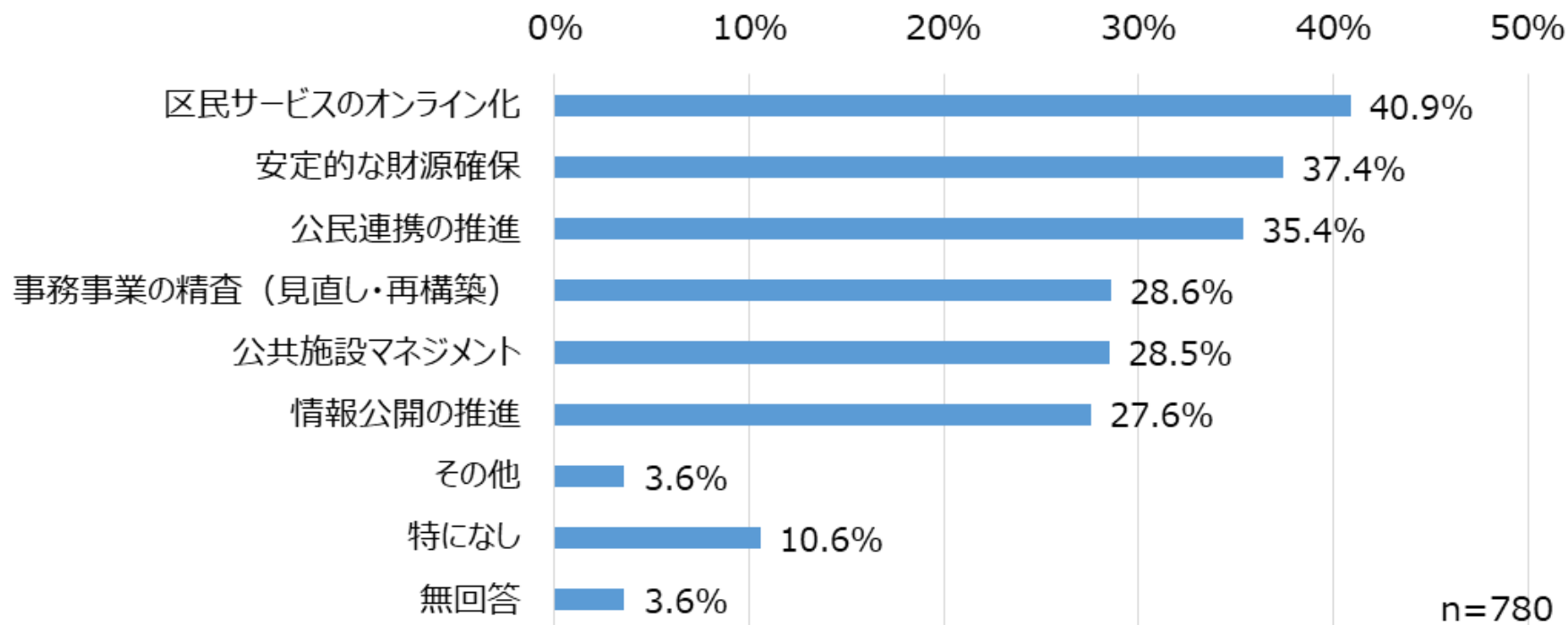
	① 区の施策検証等に向けた 大田区区民意識調査	② 区の現状把握及び課題抽出のための アンケート調査
目的	◆ 各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とする。	◆ 総合計画の策定にあたり、区の現状を把握し課題を抽出するため。
取りまとめ 期間	◆ 令和4年11月から令和5年2月	◆ 令和4年11月から令和5年3月
設問数 や回収 率等	<p>◆ 設問数 合計84問</p> <p>①[18歳以上の区民の方が対象] 設問数33 暮らし・保健・環境の分野など 配布数2,000人 回収率39.0%</p> <p>②[18歳以上の区民の方が対象] 設問数35 買い物・まちづくり・住まいの分野など 配布数2,000人 回収率39.6%</p> <p>③[未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] 設問数16 居場所・自転車の利用についてなど 配布数2,000人 回収率38.6%</p>	<p>◆ 設問数 合計35問</p> <p>[18歳以上の区民の方が対象] 設問数35 区全体のイメージ、健康づくり、地域活動 など 配布数4,000人 回収率37.9%</p>

主な設問の抜粋

① 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

■ 持続可能な自治体経営を進めるため、力をいれていくべきことに関する設問

・ 持続可能な自治体経営を進めるため、力をいれていくべきことについては、「区民サービスのオンライン化」が40.9%で最も高く、次いで「安定的な財源確保」が37.4%、「公民連携の推進」が35.4%である。

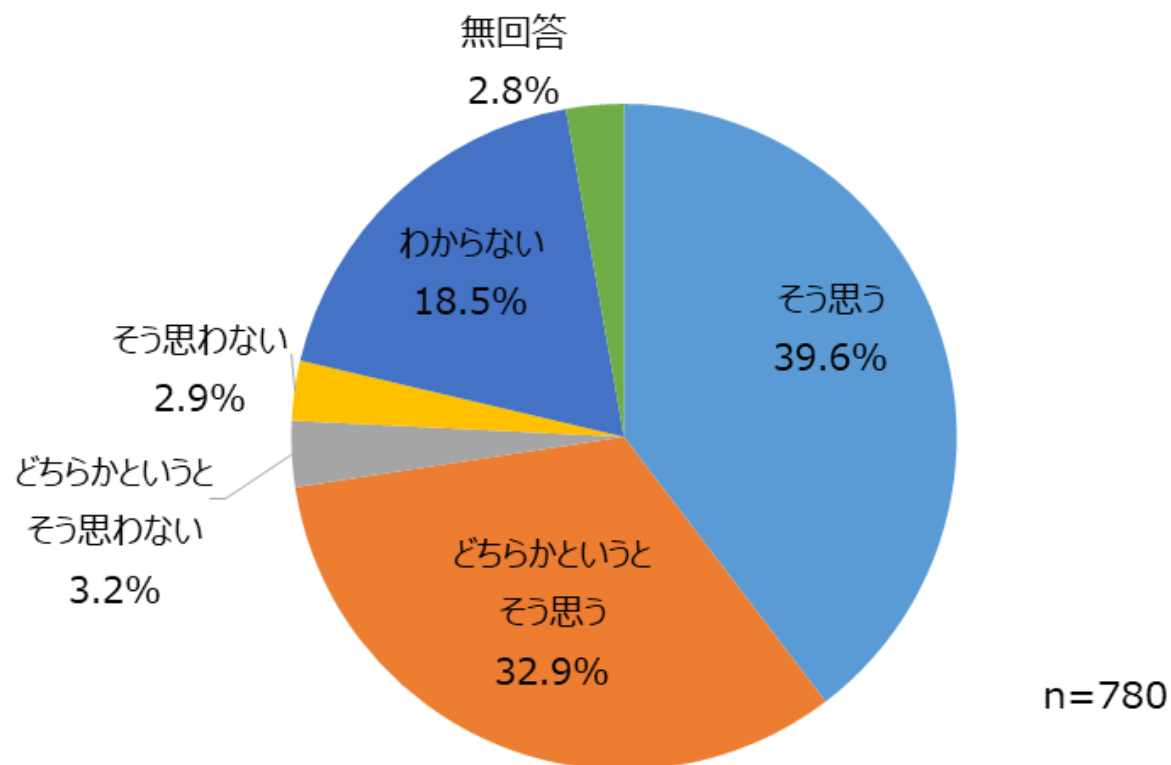


主な設問の抜粋

① 区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

■ 公民連携を推進していくべきかに関する設問

- ・ 公民連携を推進していくべきかについては、「そう思う」、「どちらかというと思う」の合計は72.5%である。
- ・ 一方で、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の合計は6.1%である。

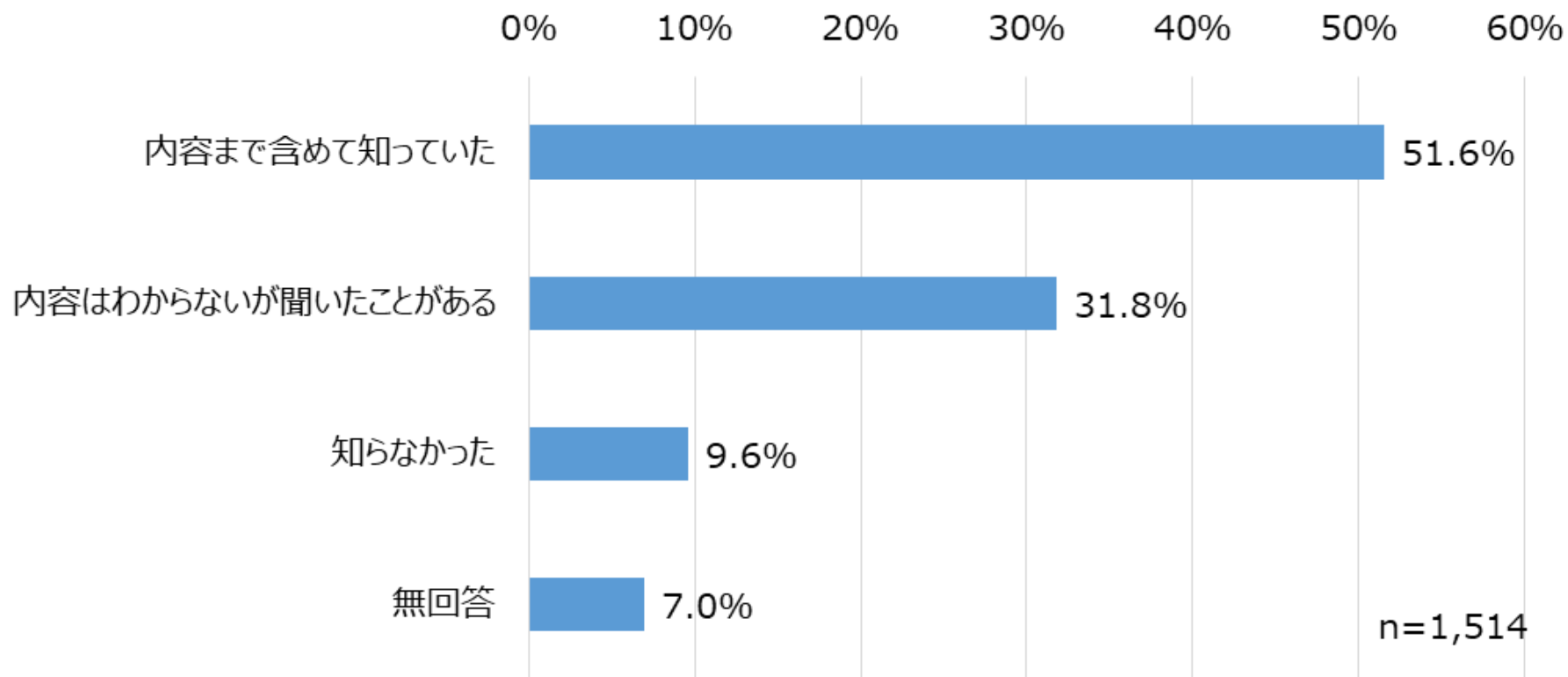


主な設問の抜粋

② 区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査

■ S D G sに対する認知度・理解度に関する設問

- ・「内容まで含めて知っていた」は51.6%、「内容はわからないが聞いたことがある」は31.8%であり、両者を合わせた『S D G sに対する認知度』は83.4%である。



主な設問の抜粋

② 区の現状把握及び課題抽出のためのアンケート調査

■ SDGsに関する意識と行動に関する設問

- ・「日頃からSDGsを意識した行動をしている（7.7%）」と「SDGsを意識し、行動にも気を付けるようにしている（34.7%）」の合計は42.4%である。
- ・一方で、「SDGsを意識しているが、特に行動はしていない（24.8%）」と「SDGsを意識しておらず、特に行動もしていない（24.6%）」の合計は49.4%である。

